

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	理論計算機科学特論第二		
英文授業科目名	Advanced Study for Theoretical Computer Science II		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-電子情報学専攻-選択科目		
開講学科・専攻	C		
担当教官名	西野 哲朗、垂井 淳		
居室	総合研究棟826(西野)、総合研究棟824(垂井)		

公開E-Mail	授業関連Webページ
Nishino Tarui	

【主題および達成目標】
(a) 主題：理論計算機科学分野の最先端の結果について学びます。
(b) 達成目標：各自で最新の論文を読破してもらいます。

【前もって履修しておくべき科目】
理論計算機科学特論

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
離散数学

【教科書等】
テキスト配布

【授業内容とその進め方】
(a) 内容：具体的内容としては、理論計算機科学の最近の話題を取り上げますが、おおむね、以下のような項目について学習を行ないます。 P = NP ? 問題, プール関数とプール回路, 回路計算量, Turing 機械, 回路計算量の下界, 単調回路計算量, Razborov の近似法, 量子回路計算量
(b) 進め方：適当な英語の論文を相談して選んだあと、論文を読み進めていってもらいます。

電気通信大学 平成20年度シラバス

(c) 授業時間外の学習：必ず予習・復習を行うこと。合計で数回、レポート課題を課すので、そのレポート作成も復習時に計画的に行うこと。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業内容に関するレポートを提出してもらいます。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

理論計算機科学はコンピュータの基礎理論であり、数学的にも非常に面白いと同時に、種々の応用が考えられる分野です。この機会にこの分野に接してみたい方は、是非受講して下さい。

【その他】